

# CA Asset Portfolio Management

リリース ノート

リリース 12.8



このドキュメント（組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」）は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社（以下「CA」）により随時、変更または撤回されることがあります。

CA の事前の書面による承諾を受けずに本ドキュメントの全部または一部を複写、譲渡、開示、変更、複本することはできません。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報です。ユーザは本ドキュメントを開示したり、

(i) 本ドキュメントが関係する CA ソフトウェアの使用について CA とユーザとの間で別途締結される契約または (ii) CA とユーザとの間で別途締結される機密保持契約により許可された目的以外に、本ドキュメントを使用することはできません。

上記にかかわらず、本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害（直接損害か間接損害かを問いません）が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本ドキュメントの制作者は CA です。

「制限された権利」のもとでの提供: アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2013 CA. All rights reserved. 本書に記載された全ての製品名、サービス名、商号およびロゴは各社のそれぞれの商標またはサービスマークです。

## CA Technologies 製品リファレンス

このマニュアルセットで参照されている CA Technologies 製品は、以下のとおりです。

- CA Asset Converter
- CA Asset Portfolio Management (CA APM)
- CA Business Intelligence
- CA Client Automation  
(旧称: CA IT Client Manager)
- CA CMDB
- CA Embedded Entitlements Manager (CA EEM)
- CA 管理データベース (CA MDB)
- CA Process Automation™
- CA Service Catalog
- CA Service Desk Manager
- CA Software Asset Manager (CA SAM)
- CA SiteMinder®

## CA への連絡先

テクニカルサポートの詳細については、弊社テクニカルサポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。



# 目次

---

<b>第 1 章: はじめに</b>	<b>7</b>
このドキュメントの目的 .....	7
各国語のサポート .....	7
発行済みの修正プログラム .....	8
製品ロードマップ情報の検索 .....	8
 <b>第 2 章: 強化された機能と削除された機能</b>	 <b>11</b>
機能名の変更 .....	11
強化された機能 .....	11
添付ファイル .....	12
Data Importer .....	12
データ マイグレーション .....	12
フィルタ .....	13
データ 検証 .....	13
大量変更 .....	14
ナビゲーション .....	14
設定の向上 .....	15
Common Asset Viewer の CA SAM との統合 .....	15
インストール .....	16
CA Software Asset Manager .....	16
共通ホーム ページ .....	17
削除された機能 .....	18
 <b>第 3 章: ドキュメント/マニュアル</b>	 <b>19</b>
CA Technologies マニュアル選択メニューの表示 .....	19
マニュアルの検索場所 .....	19
PDF の表示方法と検索方法 .....	20
Readme ファイル .....	20
マニュアルの変更点 .....	20
 <b>第 4 章: システム情報</b>	 <b>23</b>
オペレーティング システム、データベース、および Web ブラウザ .....	23
システム要件 .....	24

---

Web サーバ.....	25
データベース サーバ.....	25
アプリケーション サーバ.....	25
追加製品の要件.....	26
インストールする追加製品.....	26
必要なその他の製品.....	26
サポートされるその他の製品.....	27
CA Technologies 製品統合パッチの要件.....	27
 第 5 章: 既知の問題.....	 29
 付録 A: アクセシビリティ機能.....	 31
製品の機能拡張.....	31
 付録 B: サードパーティ製品の使用条件.....	 35

# 第 1 章: はじめに

---

CA APM リリース 12.8 をご利用いただき、誠にありがとうございます。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[このドキュメントの目的](#) (P. 7)

[各国語のサポート](#) (P. 7)

[発行済みの修正プログラム](#) (P. 8)

[製品ロードマップ情報の検索](#) (P. 8)

## このドキュメントの目的

このドキュメントは、CA APM に対する新規の、拡張された、および削除された機能、ドキュメント、およびシステム要件に関する情報を提供しています。このリリースには、製品からアクセスできる CA マニュアル選択メニューが用意されています。マニュアル選択メニューと製品ドキュメントの詳細については、「[ドキュメント](#) (P. 19)」を参照してください。

注: 公開の時点では、この製品は、このドキュメントに記載されているシステムおよび動作環境をサポートしています。システムと動作環境の最新のリストは、CA サポート オンラインの [互換性マトリックス](#) で公開されています。

詳細なインストール手順については、「[実装ガイド](#)」を参照してください。

## 各国語のサポート

国際化製品とは、必要とされるローカル言語版のオペレーティング システムおよびサード パーティ製品上で正常に動作し、データの入出力においてローカル言語のデータをサポートする、英語版の製品です。また、国際化製品は、日付、時刻、通貨、数値に関してローカル言語の書式をサポートします。

翻訳済み製品 (ローカライズ済み製品とも言います) とは、製品のユーザ インターフェイス、オンラインヘルプ、その他のマニュアルのローカル言語サポートに加えて、日付、時刻、通貨、数値に関してローカル言語でのデフォルトの書式設定をサポートする国際化製品です。

CA APM の英語版リリース以外に、CA では以下の表に示す言語のみサポートしています。

オブジェクト連絡先	国際化	翻訳済み (Post-GA)
ポルトガル語 (ブラジル)	はい	はい
フランス語	はい	はい
ドイツ語	はい	はい
イタリア語	はい	はい
日本語	はい	はい
スペイン語	はい	はい

## 発行済みの修正プログラム

CA APM のすべての発行済みの修正プログラムを確認するには、CA サポート オンラインの [[CA Asset Portfolio Management ソリューションおよびパッチ](#)] ページを参照してください。

## 製品ロードマップ情報の検索

CA IT Asset Manager の製品ロードマップは、製品の全般的な方向性の概要を示し、アセット管理実装の計画および管理に役立つ情報を提供します。たとえば、製品ロードマップは以下の情報を提供します。

- 計画されている機能
- 廃止された機能
- 国際化とローカライゼーション
- 製品の方向性

### CA IT Asset Manager の製品ロードマップを表示する方法

1. ブラウザを開いて、<http://ca.com/jp/support> に移動します。  
CA のサポート ページが表示されます。
2. [Product finder] ドロップダウン リストから、[CA IT Asset Manager] を選択します。



CA IT Asset Manager ページが表示されます。

3. [Product Status] セクションにスクロールし、[CA IT Asset Manager Product Roadmap] リンクをクリックします。

ログインしていない場合は、CA Support のログイン ページが表示されます。

4. CA Support にログインします。

CA IT Asset Manager Product Roadmap が表示されます。



## 第 2 章：強化された機能と削除された機能

---

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[機能名の変更](#) (P. 11)

[強化された機能](#) (P. 11)

[削除された機能](#) (P. 18)

### 機能名の変更

これまで *ITAM Data Importer* として知られていた機能は *Data Importer* に変更されました。以前の *ITAM Data Importer* は CA APM の外部でアクセスしたスタンドアロン製品でした。現在の *Data Importer* は CA APM 内で利用可能です。基本的なデータインポート機能に変更はありません。

### 強化された機能

このリリースでは、以下の機能が強化されています。

- [添付ファイル](#) (P. 12)
- [Data Importer](#) (P. 12)
- [データマイグレーション](#) (P. 12)
- [フィルタ](#) (P. 13)
- [データ検証](#) (P. 13)
- [大量変更](#) (P. 14)
- [ナビゲーション](#) (P. 14)
- [設定の向上](#) (P. 15)
- [Common Asset Viewer の CA SAM との統合](#) (P. 15)
- [インストール](#) (P. 16)
- [CA Software Asset Manager](#) (P. 16)
- [共通ホーム ページ](#) (P. 17)

## 添付ファイル

添付ファイルとは、オブジェクトに関連付けたサポート ドキュメントが含まれる電子ファイルまたは URL ページです。このリリースは、以下のタイプの添付ファイルへのアクセスを提供します。

- **Web URL。** URL ページを CA APM オブジェクト レコードにリンクします。
- **ファイル。** オブジェクト レコードにファイルを添付します。ファイルは CA APM サーバ上のファイル システムにアップロードされます。ストレージ マネージャ サービスは、マルチテナンシーが使用されているかどうかに応じて、サーバ上の以下のロケーションのいずれかに添付ファイルをアップロードします。

`[ITAM Root Path]/Storage/Common Store/Attachments`

`[ITAM Root Path]/Storage/Tenant_Name/Attachments`

添付ファイルの管理方法の詳細については、「*ユーザガイド*」を参照してください。

## Data Importer

データ インポート機能は、CA APM Web クライアントのユーザ インターフェースの[管理]タブに置かれるようになりました。前のリリースでは、この機能は ITAM Data Importer で実行されました。インポートを定義し、オンデマンドまたはスケジュールされたジョブとしてサブミットできます。Data Importer エンジン サービスはインポート ジョブを処理します。

データを追加または更新したい場合、Data Importer でデータをインポートします。CA MDB で、インポートするデータが 挿入されるか、または既存のデータを更新します。Data Importer でデータを削除することもできます。

Data Importer を使用してデータをインポートまたは削除する方法の詳細については、「*管理ガイド*」を参照してください。

## データ マイグレーション

CA APM データをリリース 11.3.4 からリリース 12.8 に移動するには、データ マイグレーションを使用します。まずリリース 12.8 をインストールします。インストールの最後に、CA 管理データベース (CA MDB) 構造が更新され、データのマイグレーションが要求されます。データ マイグレーションでは、データベース内のデータが古いデータベース構造から新しいデータベース構造に移行されます。

データマイグレーションを実行するには、マイグレーションツールキットを使用します。マイグレーションツールキットには、以下の4つのツールが含まれます。

- **マイグレーションドキュメント。** マイグレーションレポートの生成、マイグレーションユーティリティの実行、および手動によるオブジェクトマイグレーションの手順が記載されています。
- **マイグレーションレポート。** マイグレーションプロセス中にユーザに役立つレポートを生成します。マイグレーション中に起きる可能性のある問題を回避するため、マイグレーションユーティリティを実行する前にマイグレーション前レポートを生成します。マイグレーションユーティリティの実行後、マイグレーションレポートをさらに生成します。これらのレポートは、マイグレーションユーティリティでマイグレートできない古いデータベース構造を手動でマイグレートするときに役立ちます。
- **重複アセット名コンフィギュレータ。** 重複するアセット名に適用する名称変更設定を指定します。
- **マイグレーションユーティリティ。** 古いデータベース構造の選択したオブジェクトを新規データベース構造に移動する自動手順を提供します。

リリース 11.3.4 から リリース 12.8 にデータをマイグレートする方法の詳細については、「[実装ガイド](#)」を参照してください。

## フィルタ

個人のユーザおよびユーザ役割が表示、作成、または変更できるデータを制限することで、追加レベルのデータセキュリティを設定できます。ユーザはフィルタが指定するデータのみを変更または表示できます。どのプライマリオブジェクトに対してもフィルタを作成することができます。

データをフィルタする方法の詳細については、「[管理ガイド](#)」を参照してください。

## データ検証

フィールドのデータエントリを検証できます。これらのフィールドデータ検証により、ユーザが正しいフォーマットでデータを入力することが確実になるため、組織内のビジネスルールを強化できます。このリリースでは、テキストフィールド用のデータ検証を追加および管理できます。ユーザは、レコードを作成または変更する場合に無効なデータエントリがあれば通知されます。

データ検証を定義する方法の詳細については、「[管理ガイド](#)」を参照してください。

## 大量変更

大量変更は、検索機能を通して複数のレコードにわたってフィールド値変更を実行する場合に役立ちます。この機能では、検索結果リスト内でフィールド値を変更できます。実行できる大量変更のタイプは以下のとおりです。

- リスト内のすべてのまたは選択したオブジェクトに対する特定のフィールドの値を変更します。
- リスト内のすべてのまたは選択したオブジェクトで特定のフィールド値が空白の場合に値を追加します。

大量変更を実行する方法の詳細については、「[ユーザガイド](#)」を参照してください。

## ナビゲーション

ナビゲーション拡張機能を使用すると、選択したオブジェクトの追加の関連情報にアクセスできます。この追加情報には、ページ左側の「[関係](#)」の下メニュー項目を選択することでアクセスできます。以下の表に、使用可能な追加情報を示します。

オブジェクト	ラベル	追加情報
モデル	モデルから作成されたアセット	モデルから作成されたアセットが表示されます。
アセット	サービス デスク チケット	アセットに関連する <b>CA Service Desk Manager</b> チケットが表示されます。
販売する会社	会社からのアセット	会社が販売したアセットが表示されます。
購入した会社	会社のアセット	会社のために購入されたアセットが表示されます。
外部の会社	外部会社用のリーガル ドキュメント	外部会社と関連付けられているリーガル ドキュメントが表示されます。
連絡先（割り当てられたアセット）	配置済みアセット	連絡先のアセット配置が表示されます。
交渉担当者連絡先	リーガル ドキュメント交渉済み	連絡先によって交渉されたリーガル ドキュメントが表示されます。

オブジェクト	ラベル	追加情報
ロケーション	アセット ロケーション	ロケーションに存在するアセットが表示されます。

## 設定の向上

追加のコンポーネント設定パラメータは、[管理] タブを通して編集できるようになりました。以前は、設定ファイル内でのみこれらのパラメータを編集できました。追加パラメータは以下のコンポーネントに対して提供されます。

- イベント サービス
- データベース
- アプリケーション サーバ
- エクスポート サービス
- LDAP インポートおよび同期サービス
- Web サーバ

## Common Asset Viewer の CA SAM との統合

Common Asset Viewer は、所有アセットおよび検出されたアセットの共通ビューを提供します。ハードウェア照合中に検出されたアセットにリンクされている所有アセットに関する検出情報を表示することができます。アセットに関する検出された情報には、システム構成、オペレーティング システム、システム デバイス、ファイル システムなどの情報が含まれます。また、製品で定義したアセットに関する所有済みの情報を表示できます。アセットに関する所有情報には、アセット プロパティ（たとえばオペレーティング システムと製品バージョン）、リーガル 情報、インストールされているソフトウェア、コンポーネントなどの情報があります。

CA APM が CA Service Desk Manager および CA Client Automation と統合されている場合、それらの製品から取得したアセット情報を表示できます。リリース 12.8 では、CA APM が CA SAM で実装される場合、CA SAM からアセット情報を参照することもできます。

## インストール

インストールプロセスでは以下の点が向上しました。

- **インストールの簡略化。** すべての製品コンポーネントに対して、単一のインストール処理が提供されています。インストールが完了すると、[スタート]メニューおよび[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]に単一の **CA Asset Portfolio Management** コンポーネントが表示されます。この1つのコンポーネントには、すべての製品コンポーネントおよびサービスが含まれています。
- **インストール オプション。** ユーザのニーズにあわせて、標準インストール、カスタムインストール、および検証用途のインストールを利用で、柔軟性が提供されます。
- **マイグレーションユーティリティのインストール。** マイグレーションユーティリティは、リリース 11.3.4 データをリリース 12.8 にマイグレートするために使用します。このユーティリティはすべてのインストールで自動的にインストールされます。ただし、リリース 12.8 では、このユーティリティはリリース 11.3.4 ユーザにのみ適用されます。

リリース 12.8 インストールの詳細については、「実装ガイド」を参照してください。

## CA Software Asset Manager

CA APM は CA Software Asset Manager (CA SAM) と連携して、ソフトウェアアセット管理機能の実行を可能にします。CA SAM は、CA Software Compliance Manager (CA SCM) に取って代わるソフトウェアアセットおよびコンプライアンス管理の進化形です。CA Software Compliance Manager の計画の詳細については、CA サポートオンラインの [CA Software Compliance Manager](#) ページを参照してください。

**重要:** CA APM でのソフトウェアアセットの管理は推奨されていません。このリリースが提供する拡張機能を活用するため、ソフトウェアアセットとライセンスの管理に **CA SAM** を使用することをお勧めします。



CA SAM には以下の利点があります。

- 利用可能ライセンスの数を使用されたライセンスの数と比較することで、ソフトウェア ライセンス 準拠の位置を判断するプロセスをサポートします。
- CA SAM ユーザ インターフェースにソフトウェア ライセンス インポート機能を統合します。
- ライセンスに関する詳細な商用情報を含むソフトウェア ライセンス カタログの作成およびメンテナンスを簡素化します。
- ソフトウェア ライセンス カタログ内の定義された製品にインストールと使用状況のデータを割り当てます。
- ソフトウェア製品認識を実行します。
- 製品価格、ライセンス コスト、および契約支払いの財務分析を許可します（この機能は追加モジュールで利用可能です）。

CA APM および CA SAM の両方を実装すると、組織内のハードウェアおよびソフトウェア アセットの両方の管理を調整できます。CA APM はハードウェア アセットデータのメンテナンスを、CA SAM はソフトウェア アセットとライセンスのデータのメンテナンスを実行します。CA APM および CA SAM の両方が必要とする共通のデータは共有されます。

CA APM と CA SAM を実装する方法の詳細については、「実装ガイド」を参照してください。

## 共通ホーム ページ

現在、以下のエリアを含む、CA APM と CA SAM の両方の機能にアクセスするための単一の Web ベースのホームページがあります。

- アセット、契約およびモデルへのアクセスを含めたハードウェア アセットの管理
- CA Business Intelligence レポートを含めたハードウェア アセット管理レポート
- ソフトウェア アセット在庫および有効な需要およびライセンス
- ソフトウェア アセットの金融およびコンプライアンス上のポジション
- ソフトウェア コンプライアンス インテリジェンス
- 会社、ロケーション、部門、連絡先およびコスト センターへのアクセスを含めた組織情報

Web サーバには、共通ホーム ページへのスタート メニュー ショートカットが用意されています。ショートカット名は「CA IT Asset Manager」です。

共通ホームページをデフォルトのホーム ページに設定するには、[システム構成]、[Web サーバ] - [構成設定] で [ホーム ページ] でホーム ページ設定に "Homepage.aspx" を指定します。

## 削除された機能

以下の機能は、このリリースから削除されました。

- SQL Server 2005、Windows 2003、および Microsoft Internet Explorer 7 のサポート
- CA ライセンスのサポート
- スタンドアロン CA SiteMinder を使用する外部認証。CA APM で認証が正常に動作するには、CA SiteMinder で CA EEM が必要です。
- CA EEM は自動的にインストールされなくなりました。CA EEM は、CA APM インストールの前に手動でインストールする必要があります。
- ITAM Data Importer は、スタンドアロン製品として提供されなくなりました。インポート機能は [管理]、[Data Importer] タブ上の製品へ組み込まれました。

## 第 3 章: ドキュメント/マニュアル

---

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[CA Technologies マニュアル選択メニューの表示](#) (P. 19)

[Readme ファイル](#) (P. 20)

[マニュアルの変更点](#) (P. 20)

### CA Technologies マニュアル選択メニューの表示

CA Technologies マニュアル選択メニューでは、Section 508 準拠 HTML フォーマットの製品ドキュメントセットと、その印刷版が提供されます。CA Technologies マニュアル選択メニューは製品と共に自動的にインストールされ、製品の [マニュアル選択メニュー] リンクをクリックしてアクセスできます。

注: お使いの製品向けの CA Technologies マニュアル選択メニュー (ZIP ファイル) は、CA サポート オンラインからダウンロードして解凍することもできます。

ZIP ファイルを解凍して CA Technologies マニュアル選択メニューを表示する方法

1. WinZip などのアーカイブ製品を使用します。
2. コンテンツをローカル フォルダに抽出します。
3. マニュアル選択メニュー フォルダにある Bookshelf.html ファイルをダブルクリックします。

CA Technologies マニュアル選択メニューが表示され、ここから製品のマニュアルを表示および検索できます。

### マニュアルの検索場所

CA APM のマニュアルには、以下の場所でアクセスできます。

- 製品内の [マニュアル選択メニュー] リンクをクリック。
- インストール メディア上の Doc ディレクトリ。Bookshelf.html をダブルクリック。
- テクニカル サポート (<http://ca.com/jp/support>) 。

## PDF の表示方法と検索方法

PDF ファイルを表示するには、Adobe の Web サイトから Adobe Reader をダウンロードしてインストールします（コンピュータにまだインストールされていない場合）。

CA Technologies マニュアル選択メニュー内で Adobe Reader で PDF ファイルを開き、検索する場合、個々の PDF ファイルが検索され、検索語に一致した個々の結果が表示されます。

## Readme ファイル

Readme ファイルは、CA Technologies 製品に付属している場合がある単一ファイルのドキュメントです。リリース ノート ファイルは CA APM に常に付属していますが、Readme ファイルはオプションです。

本リリース ノートの発行時点において、CA APM には個別の Readme ファイルは必要でないため、付属していません。

## マニュアルの変更点

製品ドキュメントが更新され、リリース変更が組み込まれました。さらに、役割ベースのドキュメント シナリオが追加されました。シナリオは、特定のタスクを完了するためにどのように CA APM を使用するかに関する簡潔でモジュール式の情報を提供します。

- ユーザ ガイド
  - 添付ファイル
  - 検索結果リストの大量変更
- 管理ガイド
  - Data Importer を使用したデータのインポート（シナリオ）
  - Data Importer を使用したデータの削除（シナリオ）
  - フィルタを使用したデータの保護（シナリオ）

- 使用されないファイルの **CA APM** からの削除（シナリオ）
- フィールドデータ検証
- 実装ガイド
  - リリース **11.3.4** から リリース **12.8** へのデータの移行（シナリオ）
  - アップグレード、インストールおよび統合手順
- このリリース ノートに記載されていた既知の問題は、**CA サポート オンライン**上の [CA APM 製品ページ](#)から参照できるようになりました。
- 「*CA ITAM Data Importer 製品ガイド*」は、ドキュメントセットに含まれなくなりました。この内容は「*管理ガイド*」で参照できます。



## 第 4 章：システム情報

---

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[オペレーティング システム、データベース、および Web ブラウザ](#) (P. 23)

[システム要件](#) (P. 24)

[追加製品の要件](#) (P. 26)

[CA Technologies 製品統合パッチの要件](#) (P. 27)

### オペレーティング システム、データベース、および Web ブラウザ

この製品は、どのインストール タイプ（標準、カスタム、検証用途）でも、以下のオペレーティング システム、データベース管理システム、および Web ブラウザをサポートしています。CA Technologies は、（製造元が定める）コンポーネントのライフサイクル期間中、または CA Technologies がサポートの中止を決定するまで、各コンポーネントをサポートします。

注：公開の時点では、この製品は、このドキュメントに記載されているシステムおよび動作環境をサポートしています。システムと動作環境の最新のリストは、CA サポート オンラインの [互換性マトリックス](#) で公開されています。

注：CA Business Intelligence のインストールは Windows オペレーティング環境に限定されています。ただし、この製品がサポートされているオペレーティング システム上であればどれでも、CA Business Intelligence を製品に統合できます。

#### Web サーバ/アプリケーション サーバオペレーティング システム(OS)

- Windows Server 2008 Standard および Enterprise Edition SP2 x86
- Windows Server 2008 Standard および Enterprise Edition R2 x64
- Windows Server 2008 Standard および Enterprise Edition SP2 x64

注：CA APM リリース 11.3.4 からマイグレートし、Windows Server 2003 を使用している場合、最初に Windows Server 2008 にアップグレードしてください。

#### データベース/OS オペレーティング環境

- Microsoft SQL Server 2008 SP1、SP2、SP3、Standard および Enterprise Edition x86 および x64
- Microsoft SQL Server 2008 R2 SP1、SP2、Enterprise Edition x86 および x64

- Microsoft SQL Server 2012、Standard および Enterprise Edition x86 および x64
- Microsoft SQL Server 2012 SP1、Enterprise Edition x86 および x64

注: 共通コンポーネントは、Microsoft SQL Server 2012 データベースバージョンでサポートされていません。

- Oracle 10g Release 10.2.0.4.0 - Prod x64/Solaris 10 SPARC
- Oracle 11g R2 Release 10.2.0.4.0 - Prod x64/Solaris 10、11 SPARC
- Oracle 11g R2 Release 11.2.0.1.0 Standard および Enterprise Edition x86 および x64
- Oracle 11g R1 SLES 10 SP3 x32 および x64

注: CA APM リリース 11.3.4 からマイグレートし、Microsoft SQL Server 2005 がある場合、マイグレートする前に Microsoft SQL Server 2008 にアップグレードしてください。

### Web ブラウザ

- Windows プラットフォーム上の Microsoft Internet Explorer 8.0、9.0 および 10.0
- Firefox 3.5.5/Open SUSE Linux 11.1
- Windows プラットフォーム上の Firefox 3.5.6、19
- Firefox 3.6/Windows および Open SUSE Linux 11.1
- Firefox 3.6/SUSE Linux Enterprise (SLES) 11
- Windows プラットフォーム上の Chrome

## システム要件

製品が正しくインストールされて動作するためには、以下の要件が満たされる必要があります。これらの要件は、80 ～ 100 人の同時ユーザがいることを想定しています。MDB を正しくインストールして設定するには、データベース サーバのデータ ファイル ディレクトリに 4 GB 以上の空き領域が必要です。

同時ユーザが 100 人を超える展開アーキテクチャのサポートについては、CA サポート (<http://ca.com/jp/support>) にお問い合わせください。

**重要:** この製品では、時間が重要となるプロセスが使用されています。すべてのサーバがそれぞれのタイムゾーンで正しい日付と時刻に設定されていることを確認してください。



## Web サーバ

ハードウェア	要件
プロセッサ	最小：3GHz（デュアルコアプロセッサ）
メモリ	最小：8GB
空きディスク容量	最小：5GB

## データベースサーバ

ハードウェア	要件
プロセッサ	最小：3GHz（デュアルコアプロセッサ）
メモリ	最小：8GB

## アプリケーションサーバ

ハードウェア	要件
プロセッサ	最小：3GHz（デュアルコアプロセッサ）
メモリ	最小：8GB
空きディスク容量	最小：5GB

## 追加製品の要件

製品が正しくインストールされて動作するためには、以下の追加製品の要件が満たされる必要があります。

注: 公開の時点では、この製品は、このドキュメントに記載されているシステムおよび動作環境をサポートしています。システムと動作環境の最新のリストは、CA サポート オンラインの [互換性マトリックス](#) で公開されています。

## インストールする追加製品

製品	リリース
MDB (SQL Server および Oracle)	1.5 ビルド 1
Java Runtime Environment (JRE)	1.5.0_06、1.6.0_07、1.6.43
Common Asset Viewer	Apache Tomcat 6.0.26 上の r12.8 ビルド 2.0
MDAC	2.8
CORA	12.5.0.34
サービス マネージャの共通管理 (CASM)	Apache Tomcat 5.5.25 上の 12.5.19
BIAR	14
CA SAM	12.8 (3.5.0p11)
マイグレーションユーティリティ	12.8

## 必要なその他の製品

製品	リリース
CA EEM	8.4.244、8.4.415、12.0.6.56 (32 ビット)
CA Business Intelligence Embedded Kit	3.2.0.6, 3.3
CA Process Automation (CA SAM 実装に必要)	4.0 SP1
Acrobat Reader	5.0 以降

製品	リリース
JDBC ドライバ	SQL Server = 1.0.809.102, 2.0, 3.0, 4.0 Oracle = 2 (10.2.0.3.0), 11.2.0.1.0, 11.2.0.3
Internet Information Server (IIS)	6.0, 7.0, 7.5, 8.0 (CA SAM 実装には 7.5 が必要)
Microsoft Jet データベース エンジン	4.0 SP5
Microsoft .NET Framework	4.0
Windows インストーラ	3.1
Java Development Kit (JDK)	1.6.43 (32 ビット)

## サポートされるその他の製品

製品	リリース
CA SiteMinder	12.0 SP3
CA Client Automation	12.5 SP1
CA CMDB	12.6, 12.7
CA Service Desk Manager	12.6, 12.7
CA Service Catalog	12.7, 12.8

注: CA Business Intelligence または CA Process Automation インストールを開始する前に、CA Business Intelligence および CA Process Automation 製品ドキュメント内の要件を確認してください。

## CA Technologies 製品統合パッチの要件

CA Client Automation リリース 12.5 を CA APM リリース 12.8 と統合するには、CA Client Automation および最新パッチ (TF9B008 および TF9B004、または同等の発行済みパッチ) を CA サポート オンラインからダウンロードして、インストールします。



## 第 5 章：既知の問題

---

CA APM のこのリリースの既知の問題を参照するには、以下の手順を実行します。

1. CA サポート オンラインにログインします。
2. CA Asset Portfolio Management 製品サポート ページに移動します。
3. [製品ステータス] 領域にスクロールします。



# 付録 A: アクセシビリティ機能

---

CA では、すべてのお客様が弊社の製品およびサポート ドキュメントを正しく使用して重要なビジネス業務を遂行できるよう、全力を尽くしています。このセクションでは、CA APM に含まれているアクセシビリティ機能について説明します。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[製品の機能拡張](#) (P. 31)

## 製品の機能拡張

CA APM では、以下の領域でアクセシビリティが機能拡張されています。

- 表示
- 音声
- キーボード
- マウス

**注:** 以下の情報は Windows ベースおよび Macintosh ベースのアプリケーションに適用されます。Java アプリケーションは多数のホスト オペレーティング システムで実行されており、これらのシステムの一部にはすでに Java アプリケーションで使用可能な支援テクノロジーがあります。これらの既存の支援テクノロジーで、JPL で記述されたプログラムへのアクセスを提供するには、ネイティブ環境における支援テクノロジー自体と、Java 仮想マシン (Java VM) 内から使用可能な Java Accessibility サポートとの間のブリッジが必要です。このブリッジは、両端が Java VM とネイティブ オペレーティング システムであるため、ブリッジ先のプラットフォームごとに若干異なります。Sun では現在、このブリッジの JPL 側と Win32 側の両方を開発しています。

### 表示

コンピュータ画面の表示を見やすくするには、以下のオプションを調整します。

#### フォントスタイル、色、およびアイテムのサイズ

フォントの色、サイズ、その他の表示の組み合わせを選択できます。

#### 画面の解像度

ピクセル数を変更して、画面上でオブジェクトを拡大できます。

### カーソルの幅および点滅速度

カーソルを見つけやすくしたり、点滅速度を最小化したりできます。

### アイコンのサイズ

アイコンを大きくして見やすくしたり、アイコンを小さくして画面のスペースを増やしたりできます。

### 高コントラストの配色

見やすい色の組み合わせを選択できます。

## 音声

画像の代わりに音声を使用するか、またはコンピュータ サウンドを聞きやすくしたり区別しやすくしたりするには、以下のオプションを調整します。

### ボリューム

コンピュータ サウンドの音量を上げたり下げたりできます。

### 音声変換

音声で読み上げたコマンド オプションやテキストを聞くことができます。

### 警告

目に見える警告を表示できます。

### 通知

アクセシビリティ機能がオンまたはオフになったときに、聴覚的または視覚的な合図を出します。

### スキーム

コンピュータのサウンドと特定のシステム イベントを関連付けることができます。

### キャプション

スピーチおよびサウンドのキャプションを表示できます。

## キーボード

以下のようにキーボードを調節できます。

### 表示の間隔

キーを押したときにどのくらいの速度で文字を繰り返すかを設定できます。



## トーン

特定のキーを押したときに音が鳴るようにできます。

## スティッキー キー

片手または1本の指で入力するユーザは、別のキーボードレイアウトを選択できます。

## マウス

以下のオプションを使用して、マウスの動作を速くしたり使いやすくしたりできます。

### クリック速度

選択するときのマウス ボタンのクリック速度を選択できます。

### クリック ロック

マウス ボタンを押したままにしなくても強調表示したりドラッグしたりできます。

### アクションの入れ替え

マウスの左ボタンで制御される機能と右ボタンで制御される機能を入れ替えることができます。

### 点滅速度

カーソルの点滅速度を選択したり、点滅させるかどうかを選択したりできます。

### ポインタのオプション

以下のタスクを実行できます。

- 入力中のポインタの非表示
- ポインタ位置の表示
- ポインタが画面を移動する速度の設定
- 見やすくするためのポインタのサイズおよび色の選択
- ダイアログ ボックス内のデフォルト位置へのポインタの移動

### キーボード ショートカット

以下の表に、CA APM でサポートされているキーボード ショートカットを示します。

キーボード	説明
Ctrl + X キー	切り取り
Ctrl + C キー	コピー
Ctrl + K キー	次を検索
Ctrl + F キー	検索置換
Ctrl + V キー	貼り付け
Ctrl + S キー	保存
Ctrl + Shift + S キー	すべて保存
Ctrl + D キー	行の削除
Ctrl + 右方向キー	次の語句
Ctrl + 下方向キー	下にスクロール
End キー	行の終わり

## 付録 B: サードパーティ製品の使用条件

---

CA APM が使用するサードパーティユーティリティおよびソフトウェア用のライセンス情報は、CA Technologies マニュアル選択メニューの ¥Bookshelf Files¥TPSA フォルダにあります。

CA Technologies マニュアル選択メニューでライセンス情報を表示することができます。 [サードパーティ承認] の横の [テキストを表示] リンクをクリックします。